

# 大谷江陵闘志

バドミントンの第22回全国私立高校選抜大会（25〜28日・埼玉県、全国私立高校バドミントン連盟主催）に帯大谷の男子（相澤俊彰監督、佐藤陸主将・2年、選手8人）と女子（入江優喜監督、竹田瑛里沙主将・同、同）、江陵の男子（田代浩司監督、奥秋祐人主将・同、同）が出場する。帯大谷男子は5年連続11回目、同女子は2年ぶり4回目、江陵男子は2年ぶり3回目の挑戦でそれぞれ上位進出を目指して闘志を燃やしている。大会には2年生以下の男女各48チーム（開催地枠の県選抜含む）が出場、学校対抗の団体戦（2複3単）で競う。

（内形勝也）

## バドミントン全国私立高校選抜大会

### 帯大谷男子

帯大谷男子は6月の道進出の条件となる上位2予選会で4位となり全国チーム入りを目指して1大会出場を決めた。新チームの姿勢で臨む。

「昨年は18位だったのが今年はそのを超えるべくスト8以上を目指す」と闘志をたぎらせる。16ブロックに分かれた予選リーグは、13年連続14回目の出場で前回大会14位の自由ヶ丘（福岡県）、2年ぶり16回目出場の埼玉栄（埼玉県）とのGブロックに入った。まずは決勝トーナメント

大会に臨む佐藤主将は、「プレッシャーはあるけど、主将として全力プレーでチームをしっかり引っ張りたい」と力を込める。

△監督＝相澤俊彰  
△マネジャー＝河原崎大輝  
▽選手＝〇佐藤陸、澤田聖、岡田浩介、田上侑生、白木瑠、高橋駿哉、後藤辰浩（以上2年）上山昇大（1年）※〇は主将

5年連続11回目出場の帯大谷男子（前列中央が佐藤陸主将）



## ベスト8以上目指す

### 帯大谷女子

### 江陵男子

江陵男子は道予選で帯大谷に敗れて5位となり、北海道枠（4位以内）には入れずに補欠だったが、他府県に欠場が出たため繰り上げ出場となった。奥秋祐人主将は「棚ぼたで全国大会に出場できることになった。幸運に感謝し、一つでも多く勝ってチームとして経験を積み上げたい」と表情を引き締める。

予選リーグは、19年連続19回目出場で前回大会5位の神戸村野工業（兵庫県）、5年連続7回目出場で前回

△監督＝田代浩司  
▽選手＝〇奥秋祐人、久江颯羅、庄司大介、布目涉、加納学、鈴木陸大（以上2年）島尻慎悟、山口吏致（以上1年）※〇は主将

## 経験値積み上げたい



2年ぶり3回目出場の江陵男子（前列中央が奥秋祐人主将）